

# 平成18年日本学校薬剤師会臨時總會及び設立總會報告書

会長 西村正広

日時：平成18年11月5日(日) 11:00～15:00

場所：東京・赤坂プリンスホテル 別館1階「グリーンホール」

代表者出席：80名

臨時總會：

議案(一括上程)

第1号議案 日本学校薬剤師会の法人化に伴う解散について

杉下会長が所信表明及び、趣意書・趣意書補足を述べられ、社団法人日本学校薬剤師会設立認可と同時に日本学校薬剤師会は解散することを説明される。

第2号議案 残余財産の処分について

白石常務理事が日本学校薬剤師会有する資産及び権利義務は、社団法人日本学校薬剤師会が継承することを説明される。

第3号議案 設立発起人について

築城副会長が設立発起人は理事の中から会長が指名すること及び、現役員がそのまま設立発起人となることを説明される。

質疑応答 17通の質問事項に築城副会長が的確に答えられる。引き続き会場から質問事項に関する質疑応答が活発に行われる。

採決(無記名投票)

賛成29票 反対50票 白紙1票という結果で、議案はすべて否決された。従って、予定されていた設立總會は開催されなかった。

感想：日本学校薬剤師会が法人化されると、各都道府県学校薬剤師会の立場が、各都道府県で異なるようで、趣意書にあるように日学薬の法人化は、日学薬の課題であって、各都道府県の学薬組織に影響するものでない。とありますが、影響を受ける学薬がかなりあるようでした。各都道府県学校薬剤師会の自立が必要だと感じました。